

県南保健所感染症情報

令和7年 第 34 週

令和7年8月18日 ～ 令和7年8月24日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ （定点当たり患者数）

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 34 週						警報レベル		注 意 報 レベル
		32 週		33 週		34 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	0.80		0.00		0.40		0.31		0.45		0.40		30	10	10
	COVID-19	7.60		7.60		15.00		8.73		14.78		15.00				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	21.80		20.60		33.80		47.57		60.75		33.80				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	0.00		0.00		1.00		0.77		0.71		1.00				
	咽頭結膜熱	0.67		0.33		0.67		0.32		0.45		0.67		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.67	警報	3.67		7.67		1.34		1.42		7.67		8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		0.67		0.00		4.08		2.13		0.00		20	12	
	水痘	0.00		0.00		0.67		0.26		0.48		0.67		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.46		0.10		0.00		5	2	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	3.33	警報	2.67	警報	2.67	警報	2.07	警報	2.94	警報	2.67	警報	2	1	
	突発性発しん	0.33		0.00		0.00		0.34		0.39		0.00				
	ヘルパンギーナ	0.33		0.33		0.00		0.97		0.26		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	0.00		0.00		0.00		0.04		0.00		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	2.00	警報	0.00		0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	8.00	警報	0.00		17.00	警報	1.14		3.38		17.00	警報	8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		1.00		0.03		0.08		1.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.07		0.08		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	3.00		1.00		0.00		0.98		0.58		0.00				
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスであるものに限る）	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載（県作成速報：診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	【第34週】 結核 患者1名（70代・女性）
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第34週】 レジオネラ症 患者1名（60代・女性）
五類感染症	【第34週】 百日咳 患者3名（10歳未満・男性1名、10歳未満・女性2名）

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆伝染性紅斑（リンゴ病）は警報レベルが継続しています。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

☆新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

県南保健所管内の新型コロナウイルス感染症の報告数は全国及び長崎県の報告数を上回っています。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

＊熱中症警戒アラートの発表が頻発しています。マスクは場面に応じて着用し、熱中症対策も必要です。